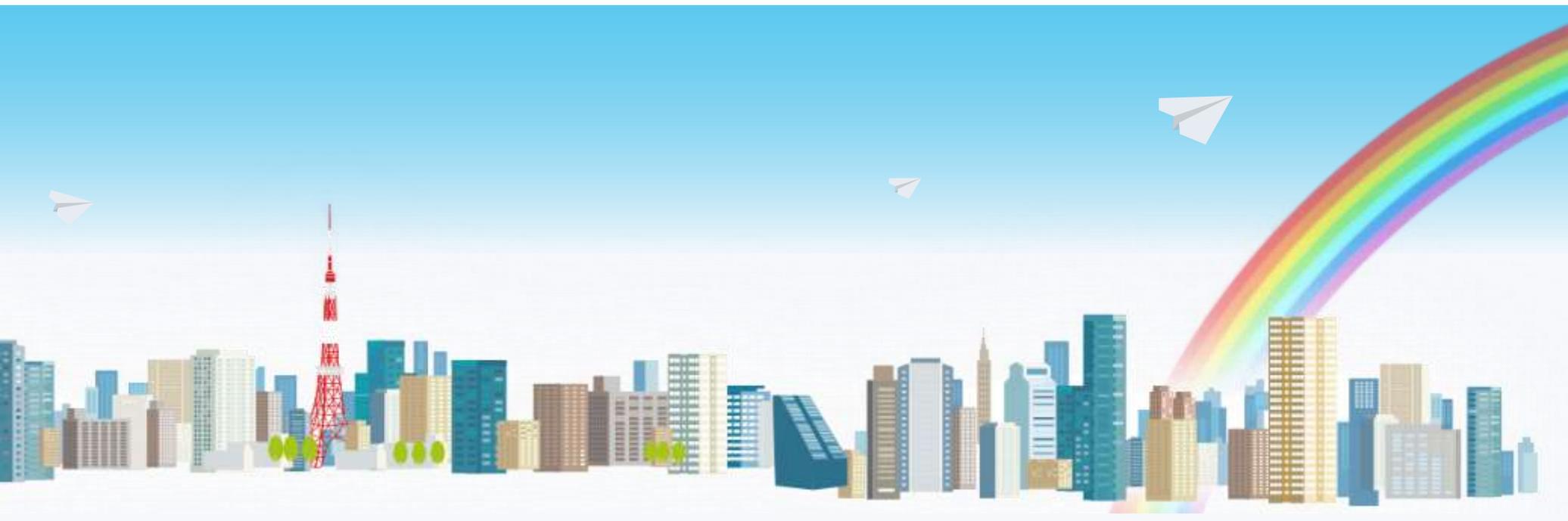


2022年7月14日

2022年11月期 第2四半期 決算説明資料



AHCグループ株式会社
証券コード：7083



1	2022年11月期 第2四半期実績	3P
2	2022年11月期 通期業績予想	14P
3	成長戦略	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	33P



1	2022年11月期 第2四半期実績	3P
2	2022年11月期 通期業績予想	14P
3	成長戦略	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	33P



- 新規事業所の開設により、売上高は前年同期330百万円増加の2,318百万円、営業利益は売上原価・販管費が増加したため微減の△111百万円、経常利益は△103百万円となった

(単位：百万円)

	2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12～2021/05)		2022年11月期 第2四半期累計実績 (2021/12～2022/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	1,988	100.0%	2,318	100.0%	330	16.6%
売上原価	1,888	95.0%	2,220	95.8%	332	17.6%
売上総利益	100	5.0%	98	4.2%	△1	△1.8%
販管費及び一般管理費	195	9.9%	209	9.0%	13	7.1%
営業利益又は営業損失	△95	△4.8%	△111	△4.8%	△15	-
経常利益又は経常損失	△19	△1.0%	△103	△4.5%	△83	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△21	△1.1%	△84	△3.6%	△62	-



- 福祉・介護事業は学校や同居家族の新型コロナウイルス感染拡大により、一時的な影響を受け売上が減少した
- 外食事業は1月～3月の時短営業の影響を受けたこと、及びコロナ禍の回復によるテイクアウト業態の低迷により売上が予想より減少した

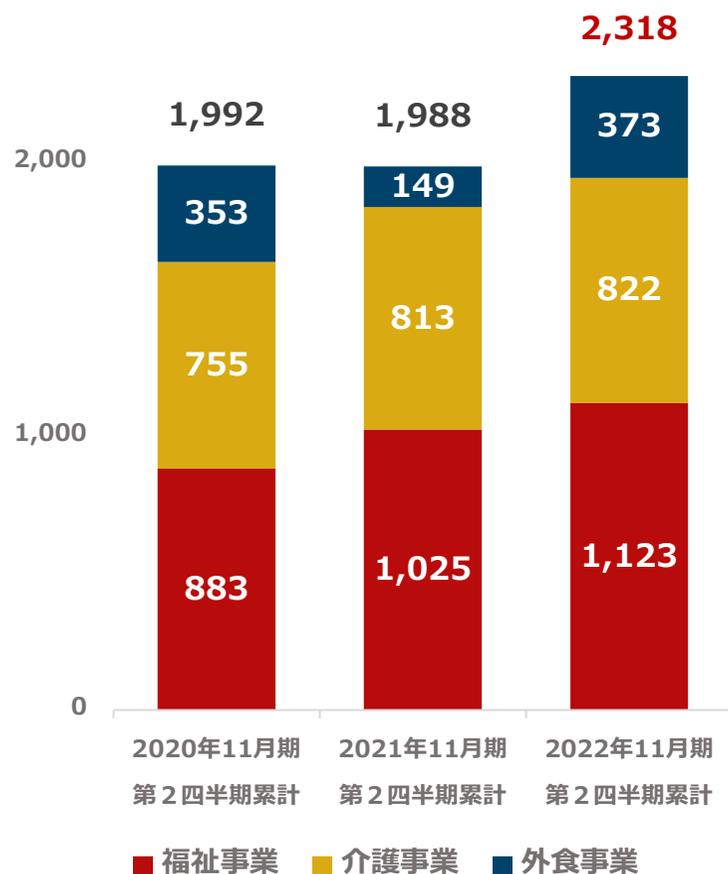
(単位：百万円)

	2022年11月期 第2四半期累計予想 (2021/12～2022/05)		2022年11月期 第2四半期累計実績 (2021/12～2022/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	2,537	100.0%	2,318	100.0%	△218	△8.6%
営業利益又は営業損失	△60	△2.4%	△111	△4.8%	△50	—
経常利益又は経常損失	△65	△2.6%	△103	△4.5%	△37	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は四半期純損失	△43	△1.7%	△84	△3.6%	△40	—



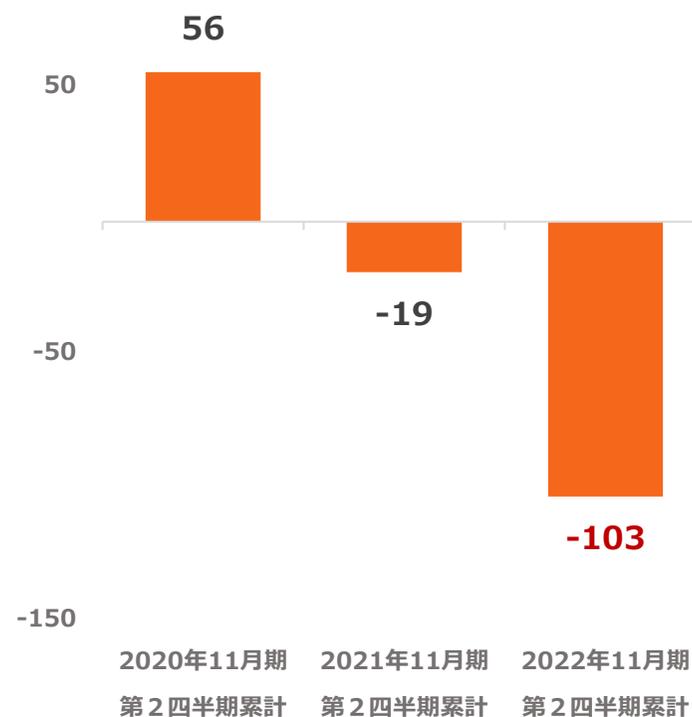
売上高の推移

(単位：百万円)

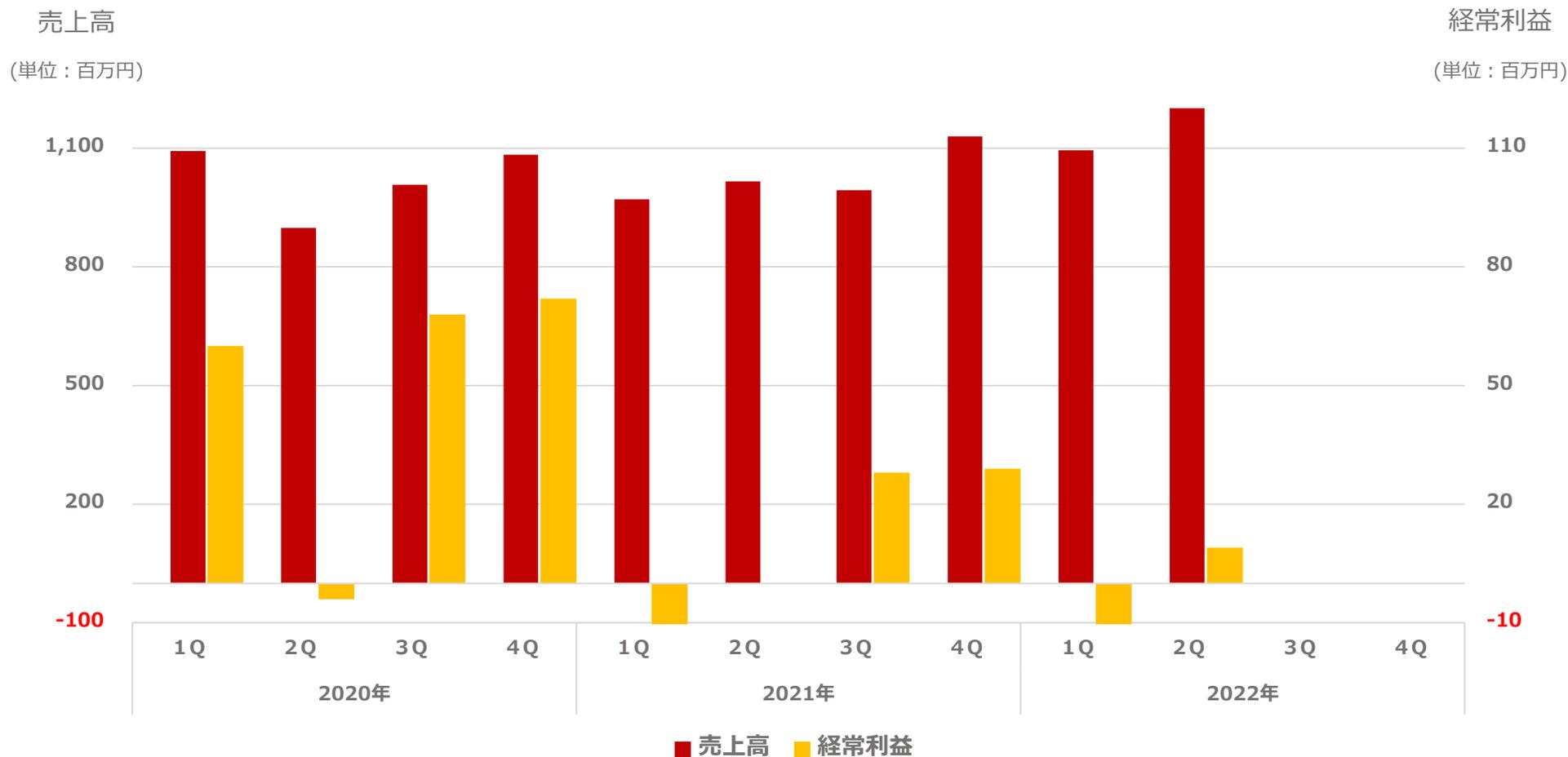


経常利益の推移

(単位：百万円)



- 2022年11月期 売上高・経常利益は、コロナ禍の影響により、第1四半期は減少したものの、第2四半期は福祉・介護の回復とともに飲食店舗の回復が順調に推移したことで増加に転じた



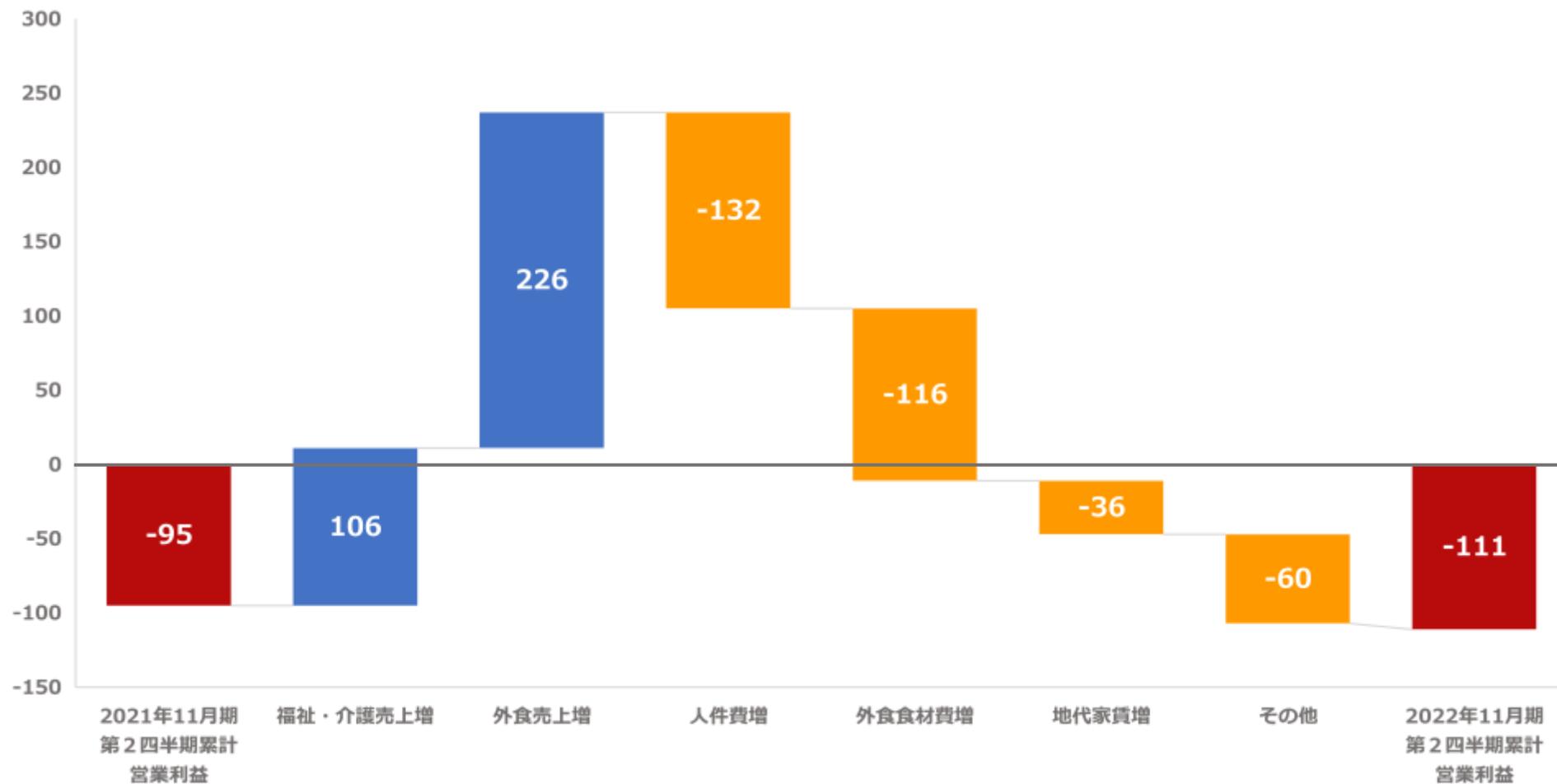
- 売上原価は、福祉・介護事業の事業所数の増加、及び飲食店舗の稼働の増加により、332百万増加した

(単位：百万円)

	2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)		2022年11月期 第2四半期累計実績 (2021/12~2022/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	1,988	100.0%	2,318	100.0%	330	16.6%
売上原価	1,888	95.0%	2,220	95.8%	332	17.6%
(人件費)	993	49.9%	1,116	48.1%	122	12.4%
(原価外食食材費)	69	3.5%	185	8.0%	116	166.9%
(地代家賃)	215	10.8%	251	10.9%	36	16.9%
(その他)	610	30.7%	666	28.8%	56	9.2%
販管費及び一般管理費	195	9.9%	209	9.0%	13	7.1%
(人件費)	33	1.7%	43	1.9%	9	28.7%
(地代家賃)	5	0.3%	5	0.2%	△0	△0.2%
(その他)	156	7.9%	160	6.9%	4	2.7%
営業利益又は営業損失	△95	△4.8%	△111	△4.8%	△15	-



(単位：百万円)



- 福祉・介護事業は前期及び今期開設事業所の立ち上がりにより、全体としては売上高が増加した一方で、コロナ禍の影響等による既存事業所の売上高減少により営業利益が減少した(前年同期比)
- 外食事業は前期よりも飲食店舗の稼働が増加したため、売上高・営業利益ともに増加した

(単位：百万円)

		2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)	2022年11月期 第2四半期累計予想 (2021/12~2022/05)	2022年11月期 第2四半期累計実績 (2021/12~2022/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	1,025	1,209	1,123	97	△86
	営業利益	91	41	48	△43	6
介護事業	売上高	813	873	822	8	△51
	営業利益	42	15	△26	△68	△41
外食事業	売上高	149	453	373	224	△80
	営業利益	△91	△11	△41	49	△30
調整額	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	△137	△105	△91	46	14
計	売上高	1,988	2,537	2,318	330	△218
	営業利益	△95	△60	△111	△15	△50

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2022年11月期は合計17事業所の開設計画

当初計画(通期)： グループホーム10(100居室)、放課後等デイサービス3、就労継続B型1、通所介護3
 実績(第2四半期累計)：グループホーム2(21居室)、放課後等デイサービス2、就労継続B型1、通所介護1

■ 福祉事業：4事業所21居室を開設

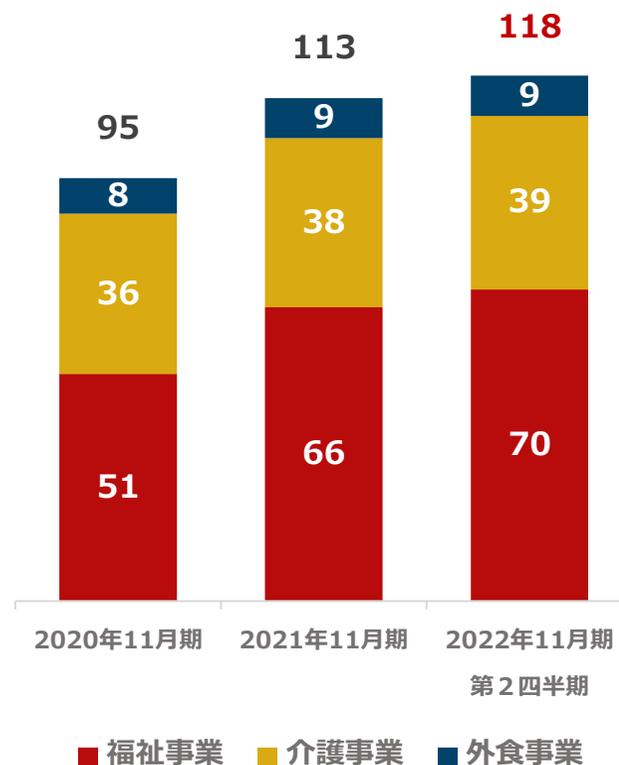
共同生活援助（グループホーム）
 ・千葉県 2事業所(21居室)

放課後等デイサービス
 ・「アプリ児童デイサービス能登川」(12月)
 ・「アプリキッズ桑名野田」(4月)

■ 介護事業：1事業所を開設

通所介護デイサービス
 ・「グリーンデイ南長崎」(3月)

事業所数の推移



(単位：百万円)

	2021年11月期実績	2022年11月期 第2四半期累計実績	前期比 増減額
流動資産	3,426	3,560	133
固定資産	1,301	1,528	227
(有形固定資産)	1,063	984	△79
(無形固定資産)	56	50	△5
(投資その他の資産)	182	494	312
総資産	4,728	5,089	361
負債	3,396	3,834	437
(流動負債)	873	962	88
(固定負債)	2,523	2,872	349
純資産	1,331	1,254	△76

■ 流動資産の増減要因

- 現金及び預金の増加(+153百万円)

■ 固定資産の増減要因

- 不動産売却による土地の減少(△81百万円)
- 投資不動産購入による増加(+262百万円)
- 未収還付法人税等による増加(+43百万円)

■ 負債の増減要因

- 借入金の増加(+424百万円)

■ 純資産の増減要因

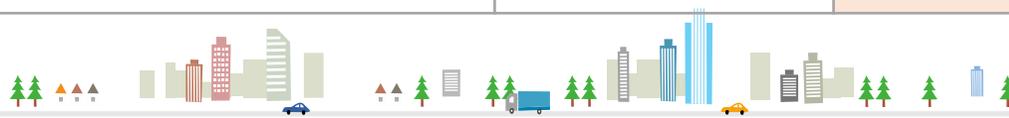
- 繰越利益剰余金の減少(△82百万円)



■ 今後の事業所開設に向けて、有形固定資産の売却及び長期借入れにより資金確保を行った

(単位：百万円)

	2021年11月期 第2四半期累計実績	2022年11月期 第2四半期累計実績
税金等調整前四半期純利益	△11	△113
法人税等の支払額	△81	△9
営業活動によるCF	△28	△15
有形固定資産の取得による支出	△550	△361
有形固定資産の売却による収入	71	124
無形固定資産の取得による支出	△35	－
投資活動によるCF	△521	△252
長期借入れによる収入	1,070	580
借入金返済による支出	△486	△205
株式発行による収入	0	－
自己株式の処分による収入	－	0
財務活動によるCF	579	421
現金及び現金同等物の増減額	29	153
現金及び現金同等物の期首残高	2,291	2,488
現金及び現金同等物の期末残高	2,320	2,642



1	2022年11月期 第2四半期実績	3P
2	2022年11月期 通期業績予想	14P
3	成長戦略	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	33P



- 新型コロナウイルス感染症の影響は、2022年11月期中は継続するとしつつも、その影響は徐々に緩和され、限定的なものとして想定
- 売上高は5,048百万円(前期比22.7%増)、営業利益は△66百万円(前期比+168百万円)、経常利益△55百万円(前期比△94百万円)と予想を修正

(単位：百万円)

	2021年11月期実績 (2020/12~2021/11)		2022年11月期予想 (2021/12~2022/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,114	100.0%	5,048	100.0%	933	22.7%
営業利益又は営業損失	△234	△5.7%	△66	△1.3%	168	-
経常利益又は経常損失	39	1.0%	△55	△1.1%	△94	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1	0.0%	△93	△1.9%	△95	-



■ 新型コロナウイルス感染症の影響

- 2022年11月期中は継続するとしつつも、その影響は徐々に緩和され、限定的なものと想定

■ 福祉・介護事業

- 新型コロナウイルスの感染が児童に拡大していることを考慮し、放課後等デイサービス事業所の利用キャンセルを一定程度加味
- 前期及び今期開設事業所の立ち上がりは、順調に推移していくものと想定
今期開設事業所は、グループホーム7事業所(64居室)、放課後等デイサービス4事業所、介護デイサービス3事業所に計画を修正

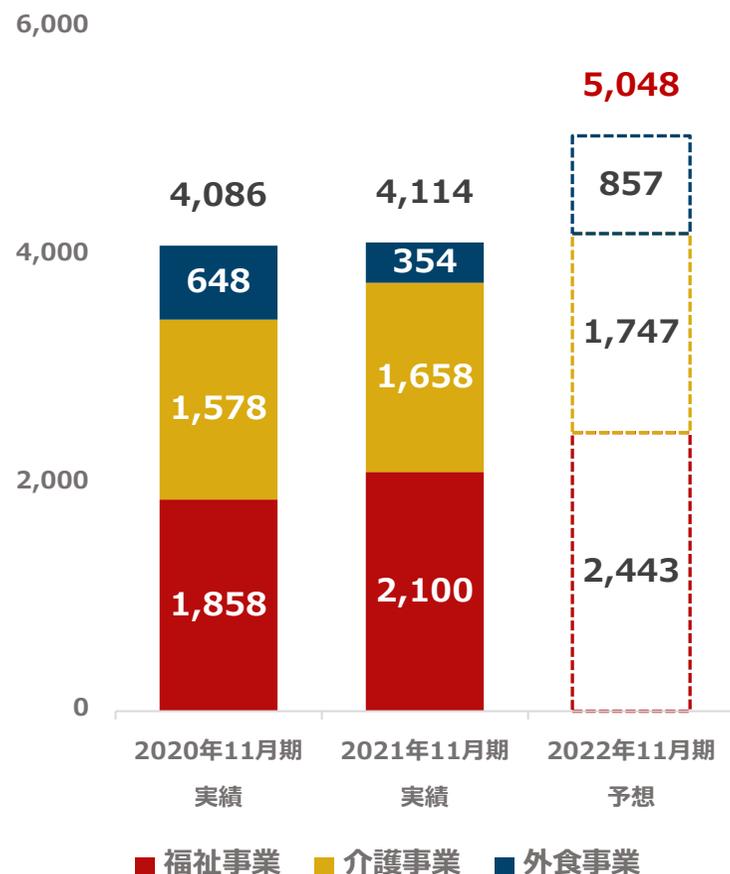
■ 外食事業

- 期末に向けて新型コロナウイルス感染拡大前の8割程度まで来店客数が回復していくものと想定
- 飲食店舗においては想定を上回る客数で推移している一方で、テイクアウト業態の需要が減少したことから1店舗の閉店を決定



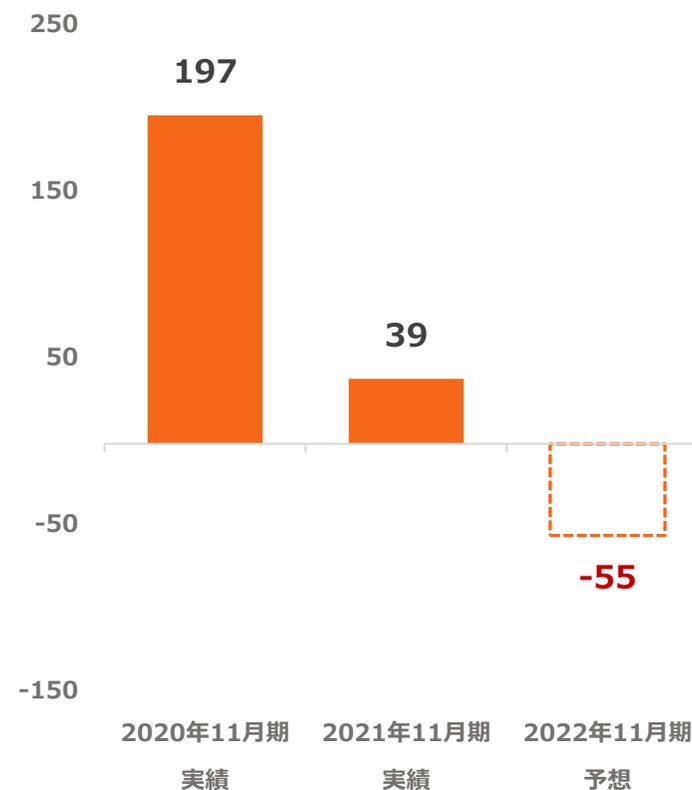
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



- 福祉・介護事業は前期及び今期開設事業所の立ち上がり、及び既存事業所の回復による売上高増加、下期開設事業所の開設費用を加味して想定
- 外食事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響は期末に向けて感染拡大前の8割程度まで売上高が回復していくものと想定

(単位：百万円)

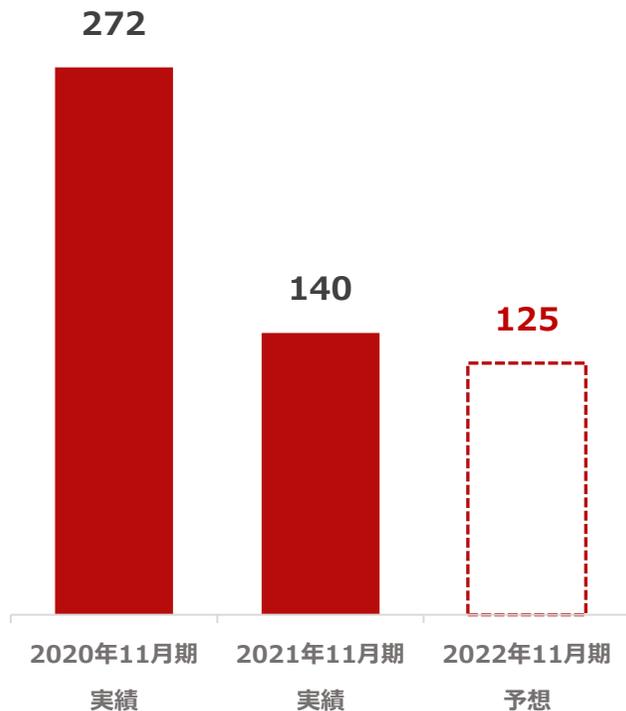
		2021年11月期実績 (2020/12~2021/11)	2022年11月期予想 (2021/12~2022/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	2,100	2,443	342	16.3%
	営業利益	140	125	△15	△10.8%
介護事業	売上高	1,658	1,747	88	5.3%
	営業利益	84	25	△58	△70.2%
外食事業	売上高	354	857	503	141.8%
	営業利益	△187	△39	148	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△271	△177	94	-
計	売上高	4,114	5,048	933	22.7%
	営業利益	△234	△66	168	-

調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

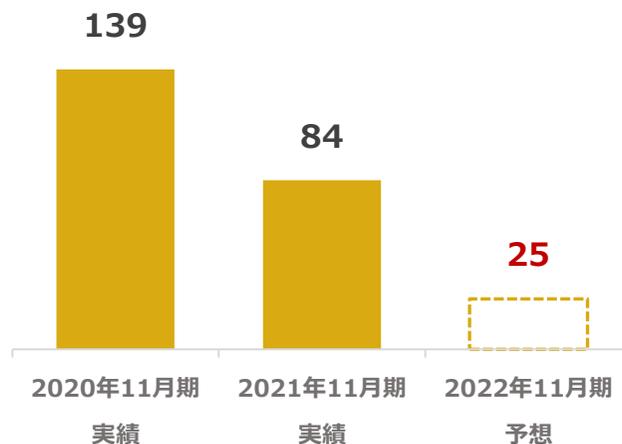


(単位: 百万円)

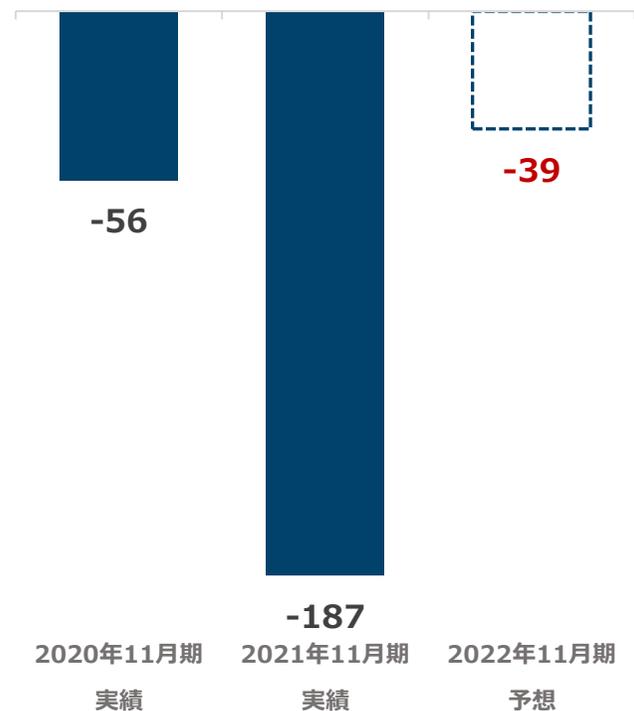
福祉事業



介護事業



外食事業



2022年11月期は合計14事業所の開設計画

当初計画：グループホーム10(100居室)、放課後等デイサービス3、就労継続B型1、通所介護3

修正計画：グループホーム7(64居室)、放課後等デイサービス4、就労継続B型-、通所介護3

■福祉事業：11事業所64居室の開設計画

共同生活援助（グループホーム） 7事業所

・「Beetle舞浜」	14居室	(介護包括型)	開設済
・「Beetle八千代台」	7居室	(介護包括型)	開設済
・「Beetle新井」	7居室	(介護包括型)	開設済
・「Beetle四日市新浜町2号館」	7居室	(介護包括型)	9月
・「Beetle前原」	7居室	(介護包括型)	9月
・「BeetleCare柏井」	8居室	(日中支援型)	開設済
・「BeetleCare関沢」	10居室	(日中支援型)	8月

放課後等デイサービス 4事業所

・「アプリ児童デイサービス能登川」	開設済
・「アプリキッズ桑名野田」	開設済
・「TODAY児童デイサービス白金2号館」	10月
・「アプリ児童デイサービス都筑ふれあいの丘」	10月

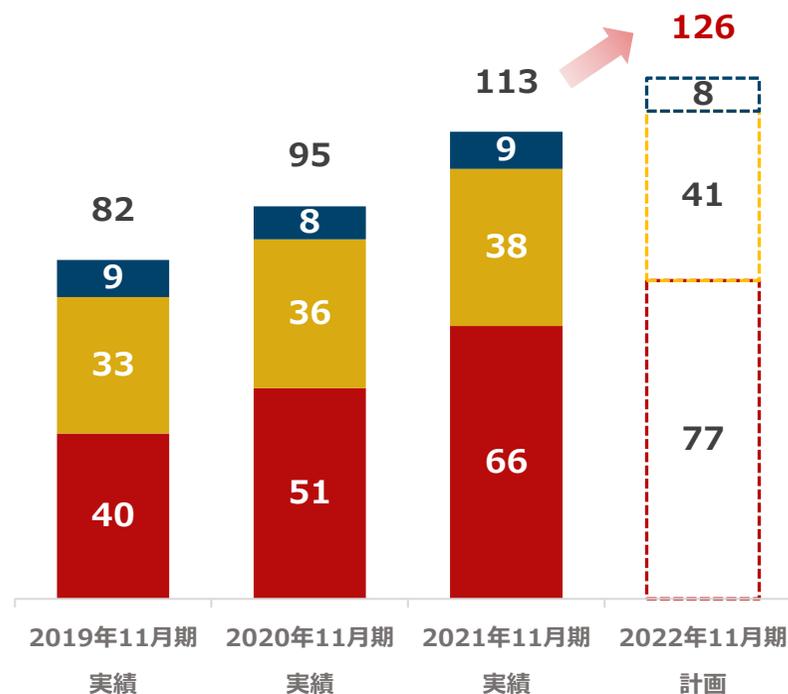
■介護事業：3事業所を開設の開設計画

通所介護デイサービス 3事業所

・「グリーンデイ南長崎」	開設済
・「グリーンデイ上板橋」	6月
・「グリーンデイ柴崎」	7月

※外食事業：1店舗を閉店

事業所数の推移



■福祉事業 ■介護事業 ■外食事業



1	2022年11月期 第2四半期実績	3P
2	2022年11月期 通期業績予想	14P
3	成長戦略	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	33P



当面は主力の福祉事業に資源を集中投下し、あわせて事業間のシナジー強化を図る

福祉事業

- ・ 共同生活援助(グループホーム)開設強化(継続)
- ・ 放課後等デイサービス卒業後の日中活動をサポートする場を強化
(就労継続支援B型(継続)・生活介護(継続))
- ・ ワンストップサービス体制の構築(継続)

外食事業

- ・ 福祉事業との連携(継続)
(共同生活援助の食事メニュー支援(継続))
- ・ 既存業態の収益改善(2022~)

介護事業

- ・ 休業・廃業を検討している優良事業所のM&A(事業譲受)を推進(継続)
- ・ 「グリーンデイ」ブランドの認知度向上に向けたドミナント形成(継続)



GROUP HOME

Beetle

共同生活援助(介護包括型)

2021年12月～新規開設

Beetle Care

共同生活援助(日中支援型)

共同生活援助(グループホーム)では、主に夜間の生活サポートが中心となる「介護包括型」だけでなく、日中も含めて24時間の生活サポートが可能な「日中支援型」を2022年11月期より開設
 今後は、より障害度合いの高い方へ自立と共同生活をサポートする「日中支援型」を中心に開設を強化

強化

■ 日中サービス支援型事業所は平成30年4月から施行されたため、まだ事業所数が少ない

	令和元年 事業所数	令和元年 利用者数
介護包括型	7,446	111,900
日中支援型	130	1,689

※出典：厚生労働省「令和2年 障害福祉サービス等について 国保連令和元年12月データ」より

開設には行政による厳格な審査基準をクリアする必要があり、企業による新規参入障壁が高い

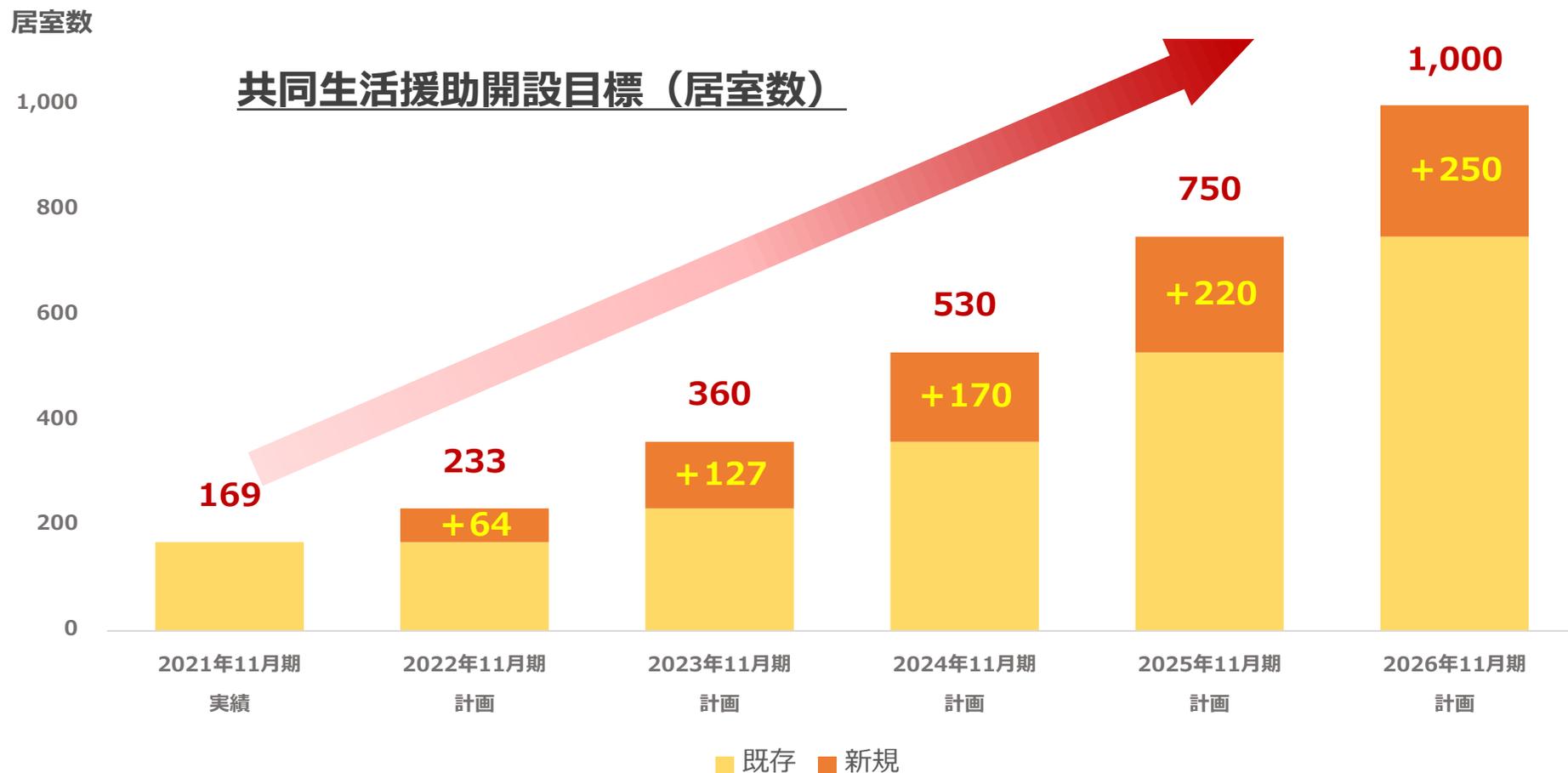
<当社の強み>

- 共同生活援助(グループホーム)事業への理解と実績
- 24時間の生活支援ノウハウ
- 人員確保力(有資格者含む)
- 物件開発力(知名度・信頼度含む)

■ Beetle Careの特徴：新築で快適な居住空間を提供/栄養管理や服薬管理、専門性の高い個別支援体制



共同生活援助(グループホーム)居室数No.1を目指し、日中支援型を集中的に開設



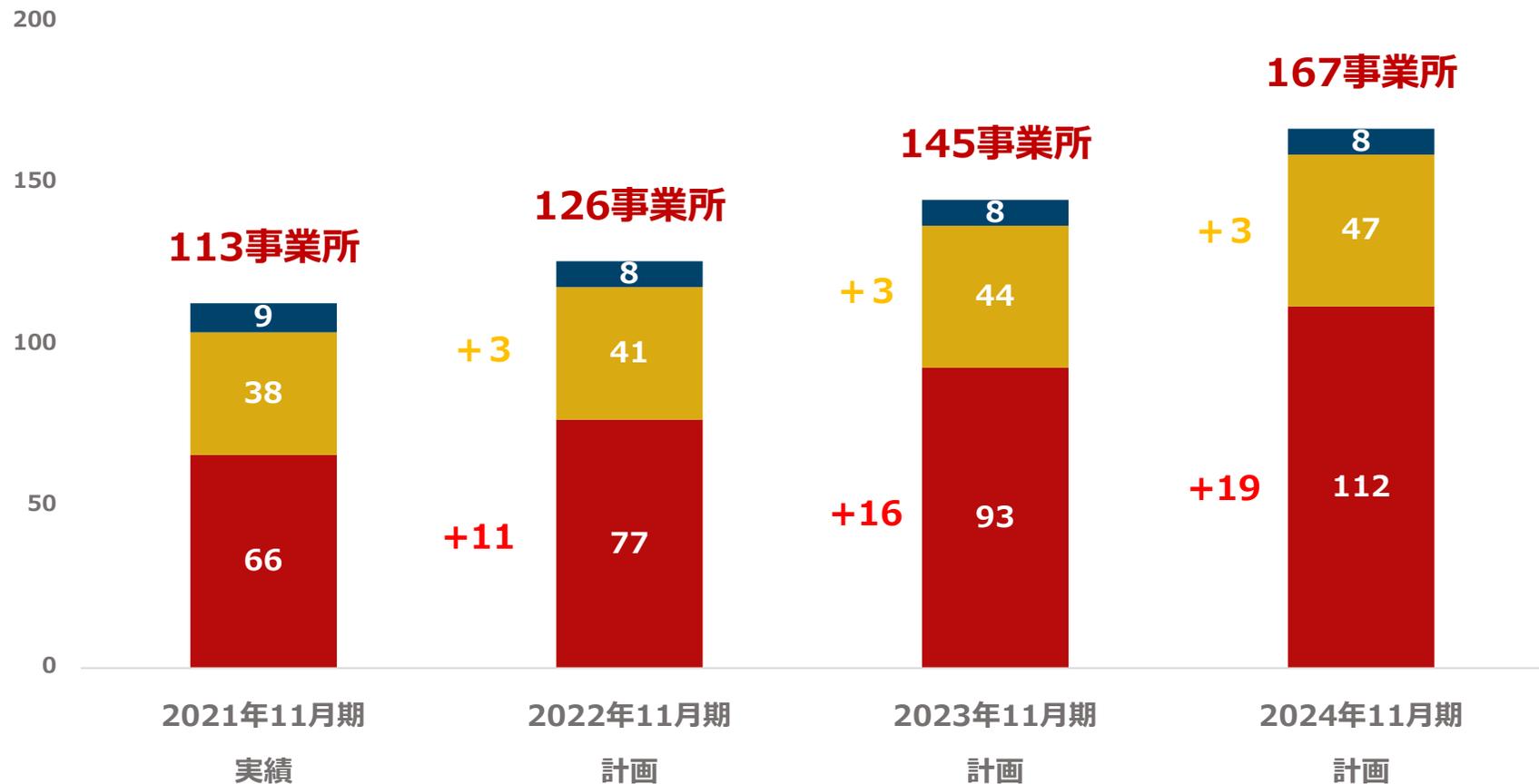
「社会福祉に特化した人生の総合サポート企業」を目指し、多様な業態を展開
顧客生涯価値(Life Time Value)の高い事業に注力



開設強化



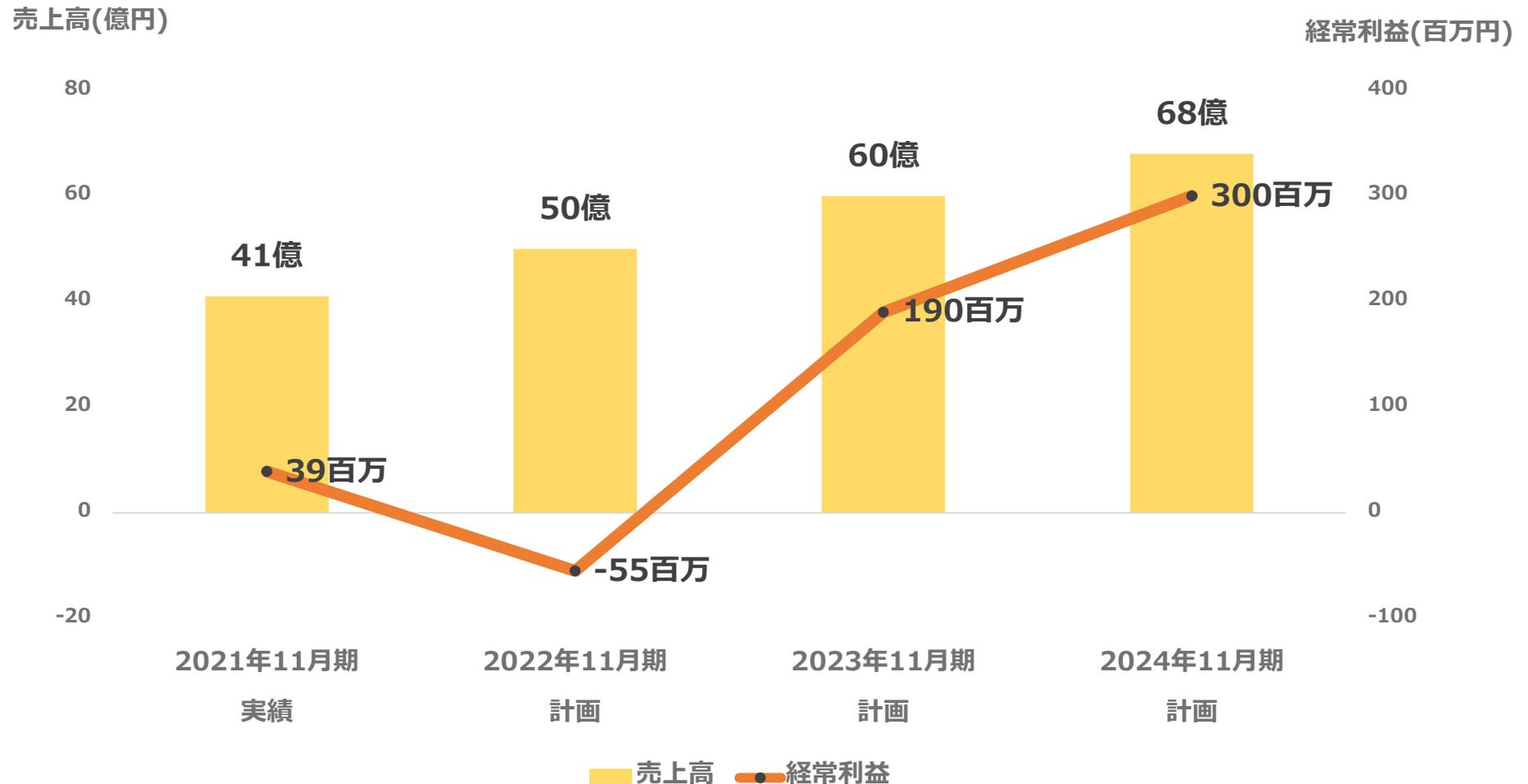
福祉事業を中心に、事業所を開設
より事業所あたりの居室数の多い日中支援型のグループホームに注力



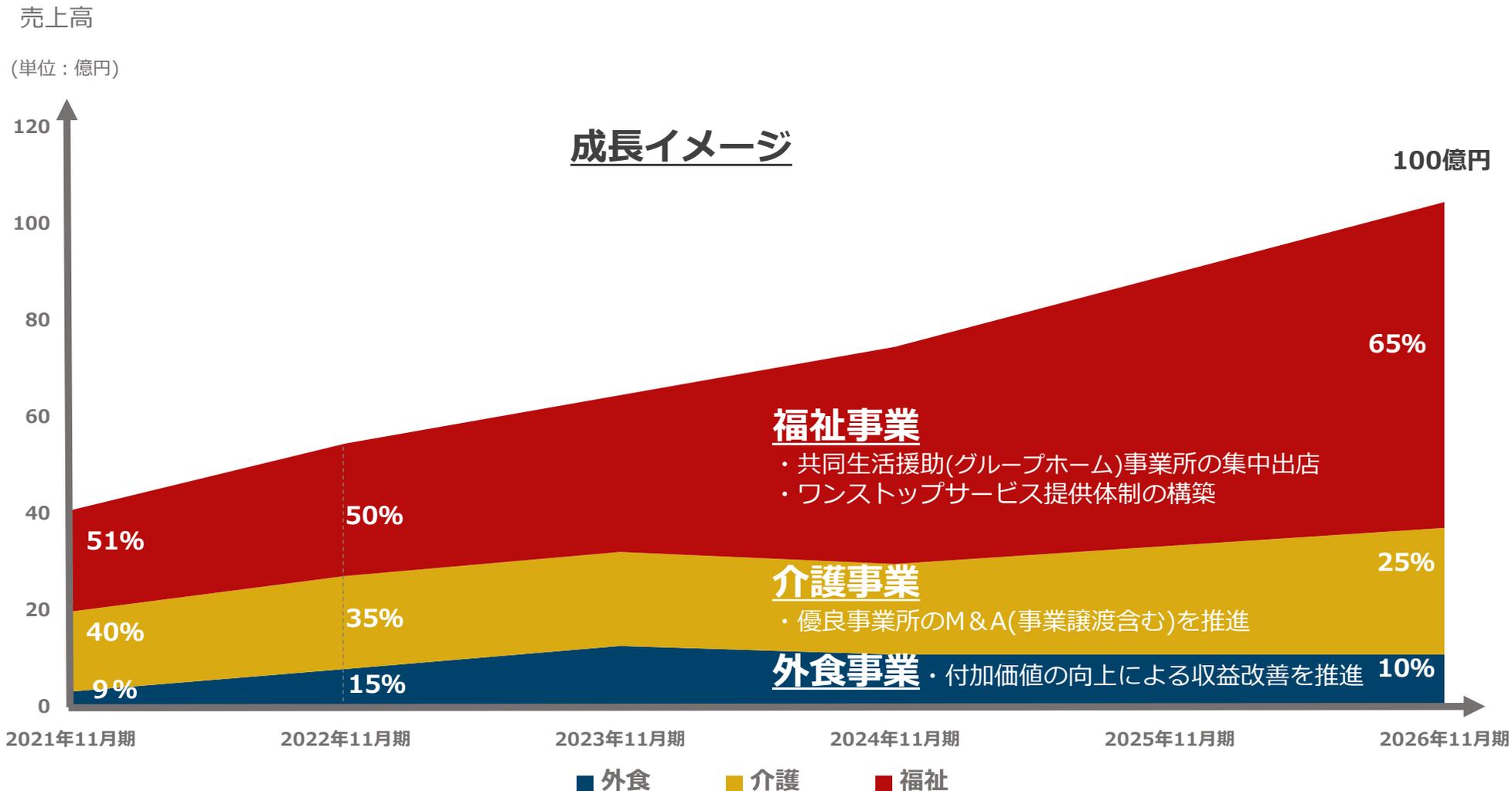
■ 福祉事業 ■ 介護事業 ■ 外食事業



福祉・介護事業所の出店強化により、売上高・経常利益の拡大を実現



福祉事業(グループホーム)への注力により業容を拡大





持続可能な社会への貢献を目指し、
環境循環型モデル事業「GROWTH FIELD」
プロジェクトを千葉市若葉区若松町でスタート

①障害福祉サービス事業とともに、循環型のきのこ栽培・販売、昆虫飼育・販売を実現する

昆虫育成後の廃マットは
畑の養分になるため土へ返す



※純国産の菌床を使用した、
千葉県産の菌床椎茸として販売

栽培後の廃菌床に養分を足して発酵させる



ヘラクレスオオカブト等の昆虫の幼虫を育てる
「昆虫マット」として活用



②付加価値の高い仕事場の提供(福祉課題の解決)

子会社であるセンターネットワーク(株)が、付加価値の高い仕事場を提供することで、AHCグループ(株)が運営する就労継続支援B型事業所「TODAY」利用者の「多様性のある社会参加」と「工賃向上」を推進

センターネット
ワーク(株)
※子会社



<p>「きのこハウス」 (菌床椎茸の栽培・販売)</p>  	<p>「昆虫ショップ」 (販売)</p> 	<p>「ヘラクレスデザインラボ」 (ヘラクレスオオカブト等の飼育)</p>  
---	--	---



就労継続支援
B型事業所
「TODAY」



■きのこハウス (MUSHROOM CUT)

- 北海道産菌床・千葉の地下水を原料に、菌床栽培にて純国産のしいたけを生産

…現在は1日あたり30~40kgの収穫が可能に
 目標：1日あたり100kgの収穫



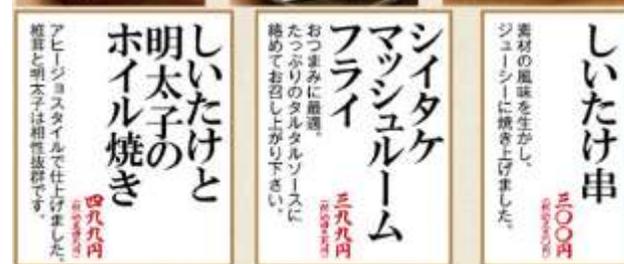
- 「環境循環」×「福祉」サステナブルブランド

関わる人全ての「想い」や「成長・努力」の『賜物』

『たまものしいたけ』



- 店頭販売をはじめ、当社グループの販売物流機能を利用し、小売業者や業務用青果卸業者へ販売開始



- 自社で運営している外食店舗にて「しいたけメニュー」を販売



■ 昆虫ショップ (H.D Lab.)

- ヘラクレスオオカブトをブリードする飼育施設と、飼育した生体や飼育用品を販売する昆虫ショップを運営
- しいたけ栽培で使用した菌床を粉砕・発酵させることで、昆虫が好む昆虫マット (えさ) として使用



■ みんなの畑 (DREAM SHARE)

- H.D Lab.で使用した「昆虫マット」は田畑の腐葉土として使用
- 腐葉土は土に混ぜることで土全体に微生物が増え、土壌をより良い状態に改良



■ 就労継続支援B型事業所 (today)

- ヘラクレスオオカブトの飼育・販売、しいたけの生産・加工・出荷にともなう計量やパソコン入力作業等の生産活動を実施



■ 太陽光パネルの設置

- GROWTH FIELDでは太陽光パネルを設置しており、当該施設で使用する20%は再生可能エネルギーを使用



1	2022年11月期 第2四半期実績	3P
2	2022年11月期 通期業績予想	14P
3	成長戦略	21P
4	補足資料（会社・事業概要）	33P





当社グループは 社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社 (エイエイチシーグループ)
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号 イトーピア橋本ビル2F
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	50,000千円 (2022年5月31日現在)
従業員人数	393人 (2022年5月31日現在) ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社 (連結子会社)

- SLカンパニー株式会社 (福祉事業所の運営)
- テラスワールド株式会社 (福祉事業所の運営)
- 介護ジャパン株式会社 (介護事業所の運営)
- センターネットワーク株式会社
(食材の仕入・加工・物流)



2007

2007年
介護事業スタート

通所介護(デイサービス)事業所を開設



2008

2008年
外食事業スタート

飲食店舗を開設



2010

AHCグループ(株)設立

介護事業でのノウハウを活かし
未就学～成人後までサポートできる福祉事業を展開

2014

2014年
福祉事業スタート放課後等デイサービス(児童発達支援含む)
事業所を開設

6歳～18歳対象

2016

就労移行支援事業所を開設
就労継続支援B型事業所を開設

18歳～64歳対象

18歳以上対象

2018

障害児相談支援・計画相談支援事業所を開設

0歳～対象

2019

共同生活援助(介護包括型)事業所を開設
未就学児に特化した児童発達支援事業所を開設

18歳以上対象

未就学児対象

2020

東証マザーズ上場

生活介護事業所を開設



18歳以上対象

2021

共同生活援助(日中支援型)事業所を開設
GROWTH FIELDプロジェクトを開始

18歳以上対象



■ 日中支援型(=日中サービス支援型)共同生活援助は平成30年4月から施行

■ 日中支援型共同生活援助の趣旨について

障害者の重度化・高齢化に対応するために創設された共同生活援助の新たな類型であり、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている

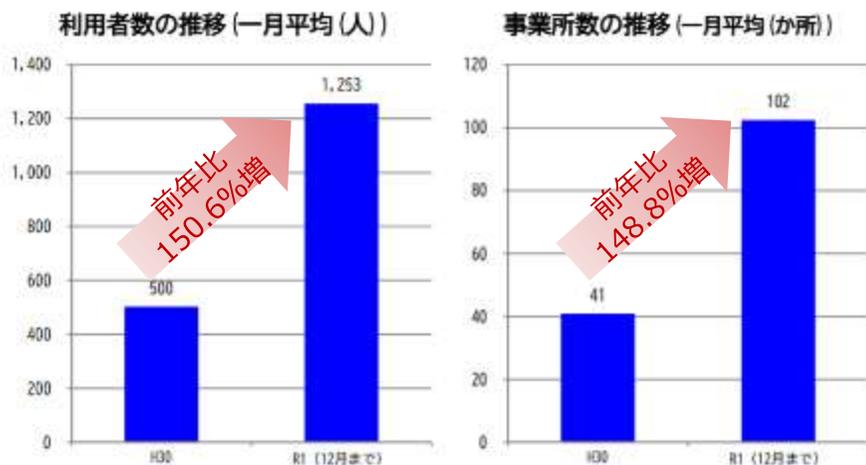
※出典：厚生労働省「自立生活援助及び日中サービス支援型共同生活援助について」より

■ 対象者について

日中支援型グループホームの主な対象者は、重度化・高齢化のため日中活動サービス等を利用することができない障害者(日によって利用することが出来ない障害者を含む)

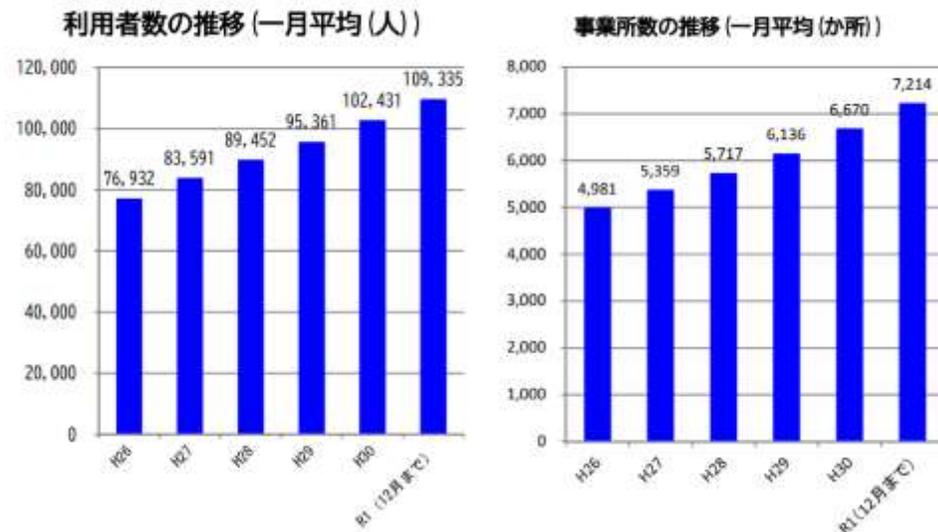
※出典：厚生労働省「自立生活援助及び日中サービス支援型共同生活援助について」より

<参考資料：日中支援型の推移>



※出典：厚生労働省「令和2年 障害福祉サービス等について 国保連データ」より

<参考資料：介護包括型の推移>



福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる多様なサービスを提供

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害や難病を持つ方に、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労実現を支援



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約どおりの就業が困難な障害を持つ方に、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助(グループホーム)》(介護包括型・日中支援型)

共同生活を営む住居を提供
障害を持つ方に、共同生活を営む住居で相談や入浴、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

介護を必要とする障害を持つ方に、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を実施



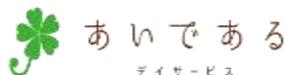
地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

日常に近い環境の中で過ごして頂くことができるデイサービス
朝食と夕食・宿泊サービスを実施し、24時間切れ目のない介護を提供



《デイサービス あいである》

1日の通所型レクリエーションが充実しているデイサービス
大浴場を設置し、入浴サービスを実施



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

午前又は午後の短時間型で機能訓練を中心としたデイサービス
スクエアステップエクササイズにより認知機能・歩行機能の向上
自立度が高いご利用者様が多く、集団体操の他、個別対応時間を多く提供



《デイサービス グリーンデイ》

1日の通所型で入浴とリハビリを両立したデイサービス
ストレッチ・コアエクササイズ・マシントレーニングの機能訓練メニューを提供
プライバシーを守るため、個別入浴サービスを実施



《デイサービス トリコロール》

1日の通所型で食・運動・娯楽にこだわったサービスを曜日毎にプログラムを変えて実施しているデイサービス



働く世代をメインターゲットに4業態を展開

外食事業：業態別概要



《ねぎま三ぞう》

若年層のサラリーマン・OL層をメインターゲットとして「ねぎま」「串天ぷら」をメニューの柱とし、高品質・低価格を実現した大衆居酒屋業態



《Bistro TERIYAKI》

ワインと本格ビストロをリーズナブルに提供する居酒屋業態
デートやお祝い、歓送迎会などハレの日の需要に対応



《とんかつ檯の咖喱屋 いっぺこっぺ》

千葉県産ブランド豚「林SPF」を使用した、こだわりのカツカレー専門店
行列のできる人気店「とんかつ檯」と業務提携



《からあげの名門》

「こだわりの唐揚げ」専門店の味を楽しめるテイクアウト業態



関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 経営管理部 I R 担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

